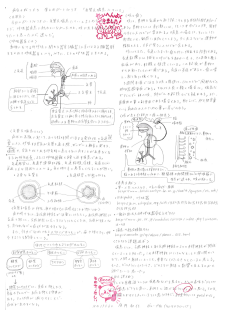
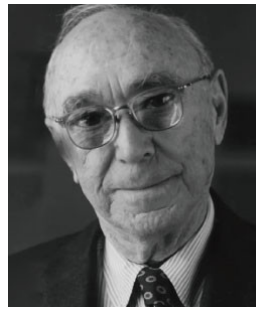


毎回、ポートフォリオを提出してください



- あなたの自己学習の記録で、レポートではありません
表紙はいりません
A4で1枚程度
講義の最初に提出
1. 学籍番号、名前
 2. 学習の項目・テーマ
 3. 学習成果
 4. 疑問点や問題点とその対応
 5. 自己アセスメント：自分の学習行動を評価
発見したこと・反省

発見学習の提唱者



ブルーナー J S Bruner (1915 - 2016)

ウッズホール会議の議長 (1959)

「自ら学ぶ力」を育成する学習法

学習過程そのものに特徴があり、学習内容だけでなく、知的操作力の獲得により、応用力や活用力の形成が期待される

発見学習の長所

「自ら学ぶ力」を育成する学習法

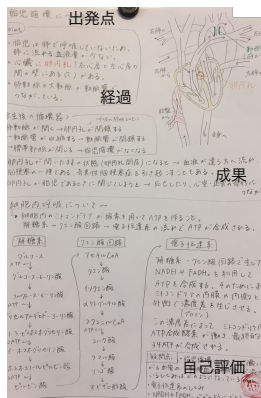
学習過程そのものに特徴があり、学習内容だけでなく、知的操作力の獲得により、**応用力や活用力の形成**が期待される

学習を通して能動的に探究する態度が形成され、解決が得られるとその発見の喜びから、**内発的動機づけ**を高め、そのようにして獲得された**知識は高く保持され、利用可能性が高い**

受容学習と発見学習

受容学習 Reception learning：教師が授業を通して教師主導でそこで習得すべき知識を伝達し、学習者がそれを受容し学習していく教授・学習方法

発見学習 Discovery method：学習者が主体的に学習を進めていく
学習者が能動的にその知識の生成過程をたどることにより、**知識を発見し**学習する学習法



ポートフォリオは旅行記 自己学習の軌跡の記録

本来は評価するものではなく自己記録

学習の出発点、経過、成果、自己評価が記載されていること

合格の「旅行記」

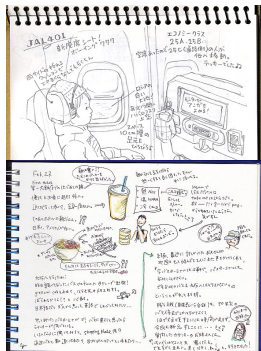


誰もが訪れる有名観光地、ガイドブックにある観光地をだいたい巡ってきた

*重要ポイントはもれなく、おおよそ押さえてある

*重要なポイントの、もれ、があれば「もうひといき」になるかも

加点される「旅行記」

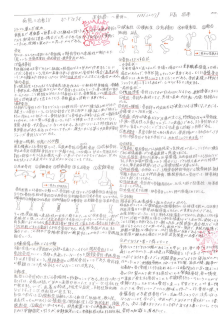


合格レベル：誰もが訪れる有名観光地、ガイドブックにある観光地をだいたい巡ってきた

に加えて、訪問記としての完成度（美術性）が高い→3点加点

ユニークな訪問、思いつかないような、誰も行ったことがないようなところ、あるいは珍しい体験をしてきた→2点加点

優秀の「旅行記」



おさえておくべき有名観光地を**完璧**にまわってきたことがわかる

訪問した記録だけでなく、歴史や社会背景、人々の生活、など掘り下げている

ポートフォリオを読んで 伝えること、感じる事

自分の興味、疑問を追究
好奇心、探究心の発露

わかったこと、理解できたこと
の喜び

わからないことに対する苛立ち
や焦り

学習したことを構造化 して記載してください

学んだこと、発見したこと の構造
このことは、例えるとこういうことだ
Aのメカニズムは、こういうことだ
AとBはこのように関連している
と、あなたが理解したことを
自己アセスメントに記載

自己評価からわかること

「チアノーゼについて調べ
たい」：新たな疑問点として
安易 3分間程度で答え
にたどりつけるようなもの、
当然知っておくべき基本的
知識など

自己学習の反省なら 理由、改善策を

もっと調べたいと思った→な
ぜ、もっと調べなかったのか、
調べられなかったのか、理由を
次回は、治療法を勉強しよう→
なぜ、治療法まで勉強しなかつ
たのか、その理由を

自己評価からわかること 具体的に記載してください

ウイルス感染症が細菌感染症と
ことなるポイントが理解できた

右心不全と左心不全の症状の
違いをまとめることができた

自己免疫疾患の発症メカニズ
ムを調べることができた

抽象的な自己評価

癌の怖さがわかった→さらに詳し
く、具体的に何が怖いのか？

自分も動脈硬化を予防しようと思
う→どうすればいいのか、また、
自分の学習について評価を

がんばろうと思った→抽象的 な
にをがんばるのか？

控えめな自己評価

今回は、おおまかに免疫をしらべ
た→なぜ、おおまか？

高校時代の復習になってよかった
→そのレベルで満足？

基礎的な知識を確認できてよかつ
た→学習すべきことがさらに

自分の学習プロセスを 自己評価する できれば批判的に

調べていたら、こんなことが
わからなくなった、新たな疑
問が出てきた

しかし、疑問を解決できな
かった

なぜか、を、分析して